

# 下痢も大腸ガンと無関係ではない

大腸ガンは下痢を誘発することもある

便秘に比べ、下痢を大腸ガンと結び付けて考える人は少ないようですが、それは間違いです。

「下痢だからガンではない」と思い込んでいたために、ガンの発見が遅れるケースを最近、しばしば経験します。

他の医療施設などですつと過敏性腸症候群といわれていて、いざ大腸内視鏡検査を行ってみると、直腸に進行ガンが発見された、という例などです。

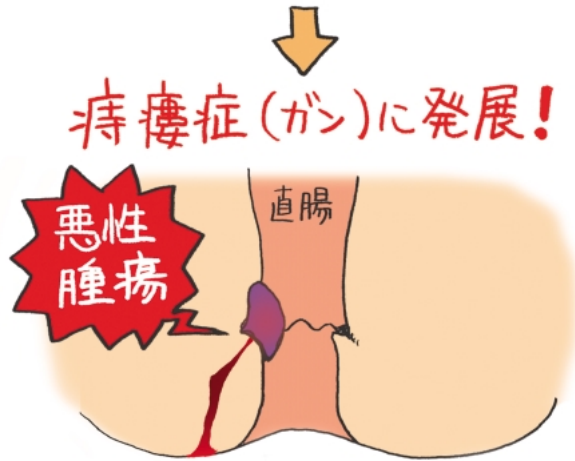
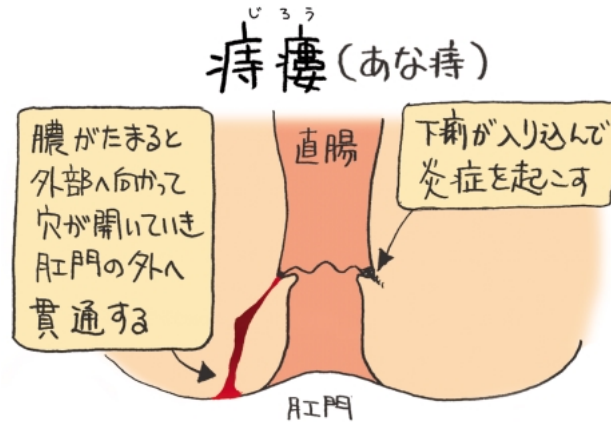
このように、かなり進行した直腸ガンでは、便の通過障害があるにもかかわらず、

頻繁に起きる下痢を主訴(患者が最も強く訴える症状)とする人もいるのです。

おかしいと思ったら、専門の医療機関で早めに検査を受けることをお勧めします。



下痢は大腸ガンとは関係ないと思い込み検査を先延ばしに...



下痢が痔瘻を招きその痔瘻がもとでガンになるなんて...怖いわ...



痔瘻がもとで発症するガンもある

痔瘻(あな痔)を持っている人の場合、まれに、ガンの一種である「痔瘻症」という病気が起こることがあります。これは肛門と直腸の境目の「肛門管領域」に発生する悪性腫瘍で、長期間に及ぶ痔

瘻と合併したものと定義されています。発症頻度は、大腸ガンの0.2~0.3%、痔瘻の0.1%と、比較的まれな病気です。発症した場合、患部から膿が出たり、分泌物が増加したりして、下痢の様な症状が起こる人が20~50%います。

## 痔瘻とは

肛門の外側に小さな穴が開き、膿が出てくる病気です。直腸と肛門の境目にはくぼみがあり、そこに下痢便が入り込むと細菌感染を起こします。膿がたまって次第に外部へ穴が開いていき、肛門の外まで貫通した穴が痔瘻です。手術でしか完治しない上、放置すると穴が複雑化します。